

市立第五中学校の今後の在り方に関するアンケート調査結果 [令和6(2024)年度版]

教育委員会では、第五中学校の今後の在り方の検証資料とすべく、同校または同校区内の小学校に在籍する児童生徒の保護者及び同校区内に居住する未就学児の保護者の皆様を対象としたアンケート調査を令和5(2023)年度に実施いたしました。その後の同校区内外の教育環境の変化等を鑑み、改めて意向確認のための調査を実施させていただきました。その結果を報告いたします。

1 アンケート調査の概要

- (1) 調査期間 令和6(2024)年6月18日(火)～8月2日(金)
- (2) 対象者 ・ 鯖石小学校および第五中学校に在籍する児童生徒の保護者
・ 第五中学校区に居住する就学前のお子様の保護者
- (3) 調査対象数 65世帯(一世帯一回答)
- (4) 調査項目数 9項目
- (5) 調査方法 対象者にアンケート用紙を郵送し、返信用封筒に入れ回答
- (6) その他 参考資料として、教育委員会が考える適正規模や中学校が複式学級となる基準、生徒数の推移予測、スクールバスの運行計画(案)、統合先として想定している東中学校の教室や部活動の状況を同封

2 回答率 70.8% (回答者数 46件/調査対象者数 65件)

3 調査結果

問1	あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○)
----	---------------------------

	回答件数	割合	(R5年時)	
1. 中鯖石	21件	45.7%	(22件)	(51.2%)
2. 南鯖石	13件	28.3%	(9件)	(20.9%)
3. 高柳町	8件	17.4%	(9件)	(20.9%)
4. その他	2件	4.3%	(1件)	(2.3%)
5. 回答しない	2件	4.3%	(2件)	(4.7%)
合計	46件	100.0%	(43件)	(100.0%)

問2	お子さん(中学生以下)の就学状況を、年齢が高い順にお聞かせください。(該当番号と項目に○、及び学年を記入)
----	---

中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	保育園	未就園	合計
11人	4人	10人	3人	5人	6人	8人	2人	4人	16人	1人	70人

問3	中学生にとって1学年あたりのクラス数は、どの程度が望ましいと思いますか。(1つに○)
----	--

	回答件数	割合	(R 5 年時)	
1. 2～3 クラス (全学年で 6～9 クラス) が望ましい	20 件	43.5%	(18 件)	(41.9%)
2. 4 クラス以上(全学年で 12 クラス以上)が望ましい	0 件	0.0%	(1 件)	(2.3%)
3. 1 クラス (全学年で 3 クラス) でもよい	15 件	32.6%	(16 件)	(37.2%)
4. 複式学級 (複数の学年でクラス編成) でもよい	8 件	17.4%	(7 件)	(16.3%)
5. 未回答	3 件	6.5%	(1 件)	(2.3%)
合計	46 件	100.0%	(43 件)	(100.0%)

【その他の意見】

- (1) 単なる生徒数だけでは分からない。
- (2) それぞれ良い所はあると思う。人数だけで決められるものではないと思います。

問4	問3で選んだ項目について、そのように思われる理由は何ですか。あなたの考えに近いものはどれですか。(2つまで○)
----	---

	回答件数	割合	(R 5 年時)	
1. 一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる	19 件	22.3%	(20 件)	(24.4%)
2. 多様な考えや異なる意見を出し合ったり発表し合ったりすることで、理解を深めることが期待できる	10 件	11.8%	(11 件)	(13.4%)
3. 同じ生徒とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる	6 件	7.1%	(3 件)	(3.7%)
4. クラス替えがあり、新しい出会いや環境により心機一転新年度のスタートが切れる	10 件	11.8%	(8 件)	(9.8%)
5. 学年を超えた友達ができやすい	6 件	7.1%	(8 件)	(9.8%)
6. さまざまな個性をもつ友達と触れ合いにより、交友関係の広がりが期待できたり、クラスごとに切磋琢磨しながら向上が図れたりする	15 件	17.6%	(10 件)	(12.2%)
7. 一人ひとりに役割と出番があり、活躍の場が豊富になる	10 件	11.8%	(10 件)	(12.2%)
8. 目標に向かって大勢で協力し合うことを体験できる	2 件	2.3%	(4 件)	(4.8%)
9. クラス数が多いことにより、学年行事や学校行事を盛大に行うことができる	3 件	3.5%	(3 件)	(3.7%)
10. 専門教科の先生の人数が多く、いろいろな先生から教えてもらえる	1 件	1.2%	(0 件)	(0.0%)
11. その他	3 件	3.5%	(5 件)	(6.0%)
合計	85 件	100.0%	(82 件)	(100.0%)

【その他の意見】

- (1) 自分自身の中学生時に良い思い出がないためクラス数に望みはない。
- (2) 中学校が東中まで遠くなることを望みません。学年1クラスが維持できる工夫や交流の工夫で少人数のデメリットを補う五中の位置での教育を望みます。
- (3) 生徒の人数の多い少ないで、教育の良悪が決まるとは思わない。

問5	生徒数の減少により全国的に小・中学校の統合が進んでいます。今後の「中学校」または「学区」のあり方について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。（1つに○）
----	---

	回答件数	割合	(R 5年時)	
1. 現行のままの学校配置でよい	15 件	32.6%	(16 件)	(37.2%)
2. 近隣の学校と統合すべきである	19 件	41.3%	(19 件)	(44.2%)
3. その他	12 件	26.1%	(7 件)	(16.3%)
4. 未回答	0 件	0.0%	(1 件)	(2.3%)
合計	46 件	100.0%	(43 件)	(100.0%)

【その他の意見】

- (1) 学区にとらわれずに行きたい学校を選べるように小規模校も残してほしい。
- (2) 生徒数が少ないから統合するという安易な考えは改めるべき。
- (3) 通学時間を配慮した学校配置変更をするべき。
- (4) どちらでも良い。
- (5) 現状の教育体系では地域的観点では地域に学校がなくなれば、そこに住もうとする家族層は減ることが考えられ、それは柏崎の中で人が住む地域をせばめていることになると思うので残してほしいが、集団生活の中で学ぶルールや生活の考えると人数が多いほうがよい。
- (6) 単なる人数合わせの統合ではなく、地域活性化も大切な視点である。
- (7) 将来的には、統合もいたしかたない。
- (8) 統合するとしても東中の立地に不便を感じる。
- (9) 公立の中学校の立地は人数だけでなく、距離の遠さからの生徒の負担も考えるべきである。又、立地のポテンシャルを活かし、特徴ある学区を超えた教育の場とする工夫も必要と考える。
- (10) 校区の見直しをふくめ今の時代にあった教育のあり方を本気で考えるべきだと思う。人数だけで考える安易な統合には反対です。
- (11) 複数の学校を完全に統合し、一つにするのではなく、多い所から少ない所に人を移動するのもアリだと考える。
- (12) 選択出来るようにする。統合は賛成。でも学校に通いたくても通えない子の受け口を必要と考える。
- (13) 統合も反対ではないが、今の柏崎市教育総務課の統合1本の姿勢に納得できない。市民からの要望に応えていない。柔軟に議論すべき。寄り添う姿勢がゼロ。このままの統合では柏崎に明るい未来はない。

問 6	市教育委員会が策定した市立小・中学校学区再編方針では、「第五中学校と東中学校を統合する」としていますが、現時点であなたはこの方針をどう思いますか。（1つに○）
-----	---

	件数	割合	件数	割合	(R 5 年時)	
1. 賛成	14 件	30.4%	23 件	50.0%	(19 件)	(44.2%)
2. どちらかといえば賛成	9 件	19.6%				
3. 反対	13 件	28.2%	22 件	47.8%	(24 件)	(55.8%)
4. どちらかといえば反対	9 件	19.6%				
5. わからない	1 件	2.2%	1 件	2.2%	(0 件)	(0.0%)
合計	46 件	100.0%	46 件	100.0%	(43 件)	(100.0%)

問 7	問 6 で「1. 賛成」又は「2. どちらかといえば賛成」と回答された方にお聞きします。統合時期は、いつごろが良いと思いますか。（1つに○） ※教育委員会では統合時期の目途を遅くとも令和 10 (2028) 年度と考えています。
-----	---

	件数	割合
1. 令和 8 (2026) 年 4 月	15 件	65.2%
2. 令和 9 (2027) 年 4 月	2 件	8.7%
3. 令和 10 (2028) 年 4 月	5 件	21.7%
4. 令和 11 (2029) 年 4 月	0 件	0.0%
5. 令和 12 (2030) 年 4 月以降	1 件	4.4%
合計	23 件	100.0%

問 8	問 6 で「3. 反対」又は「4. どちらかといえば反対」と回答された方にお聞きします。反対の理由に近いものは何ですか。（2つまで○）
-----	---

	件数	割合	(R 5 年時)	
1. 生徒数が増え、子どもに目が届かなくなるため	5 件	13.2%	(5 件)	(11.6%)
2. 生徒数が増えることで、人間関係に不安を感じるため	5 件	13.2%	(4 件)	(9.3%)
3. 地域に学校がなくなるため	5 件	13.2%	(7 件)	(16.3%)
4. P T A 行事や学校行事に期待が持てないため	0 件	0.0%	(2 件)	(4.6%)
5. 通学時間が長くなるため	12 件	31.5%	(15 件)	(34.9%)
6. その他	11 件	28.9%	(10 件)	(23.3%)
合計	38 件	100.0%	(43 件)	(100.0%)

【その他の意見】

- 大きい学校へ統合することで学校の多様性をなくすことがこれからの時代に合っているとは思えない。特色（地域性や少人数であること等）を生かす方向に行ってほしい。
- 元々大人数の学校で不登校となり、少人数の学校を探し求めて鯖石小学校へ転校してきたのにも

- かわらず、統合されて、また不登校になってしまうため。
- (3) 不登校の生徒が多数の環境に適さない生徒もいるため、そういう生徒の受け入れ先として少人数の学校が存在意味はあると思う。統合するとして、五中と北条中で統合という選択肢はないのか？
 - (4) 人数一辺倒の方針である為、それ以外のメリットの説明がないため。
 - (5) どちらかといえば賛成だが、ただ人数が少なくなったから今後も市内で統合を進めていくという考えであれば反対。
 - (6) 地域に学校がなくなり、地域への愛着も薄まり、地域の活性化も失われる。人数が多い環境が苦手な子供もいる。多様な子供に対応できる学校であってほしい。
 - (7) 自分の育った環境・地域で学ぶことが出来たら、良いのに...と思います。
 - (8) 北条中学校との統合も選択肢のひとつに考えられます。
 - (9) 現時点で、不安な点や学区等審議会からの指摘項目に対する動きが見えてこないため。
 - (10) 学区外から通っている子もいます。人数少なく五中ならと通えている子もいるので小キボ校も必要です。

問 9	令和4（2022）年7月に市教育委員会が開催した「学校統合に関する意見拝聴会」に、あなた又はご家族は参加されましたか。（1つに○）
-----	---

	件数	割合	(R 5 年時)	
1. 参加した	22 件	47.8%	(22 件)	(51.2%)
2. 参加していない	23 件	50.0%	(17 件)	(39.5%)
3. 未回答	1 件	2.2%	(4 件)	(9.3%)
合計	46 件	100.0%	(43 件)	(100.0%)

【その他の意見】

- (1) 2023 年 11 月に転校してきたため。
- (2) 令和 5 年に転入して来たため。
- (3) このアンケートに何の意味があるのですか？これで市民の声を聞いた気にならないでいただきたいです。
- (4) 今回のアンケートは、一方的な内容を選択するアンケートであり、単にアンケートをとったという事実を残したいという思いを感じる。自由記述や意見欄を設けてアンケートをとることが必要。
- (5) 本アンケートの文言に対して、「統合ありき」の意思が感じられます。アンケートを取る上での平等性が保たれていません。誘導尋問のような箇所もあると感じられます。柏崎教育委員会の皆様には、ぜひ小規模特認校として第五中学が存続できないか検討をしていただきたいです。市内の大規模校では、学校になじめず通えない生徒さんが校外の小規模校を選択し通えるような支援や、不登校特例校の事例を参考にして第五中ならではの教育が今後も実施されていくことを希望しています。
- (6) 前回と同じ内容のアンケート。何か変化あるのでしょうか！？同じことをくり返してもいみないのでは...と思います。